



金沢市産学連携ものづくり技術交流塾
ものづくりデザインセミナー

地域の ものづくり とデザイン

2019年9月18日(水)



- 日 時：2019年9月18日(水) 14:00～16:30
- 会 場：金沢市異業種研修会館(金沢市打木町東1400番地)
- 参加費：無料 ■定 員：30名
- 対 象：ものづくりに携わる企業経営者、開発・デザイン担当者など
- 主 催：金沢市産学連携事業運営委員会、金沢市

製品の魅力や価値を高めるうえで重要な役割を果たしている「デザイン」ですが、近年、企業の競争力を高めるため、経営にも「デザイン」の視点を取り入れる考え方が広がってきています。同時に企業の社会的責任として社会の「持続可能性」に対する取り組みが必須となってきました。

本セミナーでは、金沢美術工芸大学及び石川県工業試験場から講師をお招きし、デザインの入門講座として地域におけるものづくりとデザインの関係性や重要性についてお話いただくほか、これからの企業に求められるデザイン経営の考え方や様々なデザイン開発の実例を紹介していただきます。

プログラム

- 14:00～開催のあいさつ……………金沢市異業種研修会館 館長 太田 富久
- 14:10～デザイン経営と持続可能性への取り組み……………金沢美術工芸大学 製品デザイン専攻 教授 安島 諭氏
- 15:00～休憩
- 15:10～持続可能な地場産業とデザインの役割……………石川県工業試験場 デザイン開発室 研究主幹 餘久保 優子氏
- 16:00～情報交換会
- 16:30 終了



安島 諭 Satoshi Yasushima

金沢美術工芸大学
製品デザイン専攻 教授

金沢美術工芸大学卒。北岡デザイン事務所、ナカミチを経て 1998 年 THINGS 設立。プロダクト、空間、IT、映像の分野で、企業との先行開発の経験を持つ。現在、金沢美術工芸大学製品デザイン専攻教授。デザインによる企業再生の経験からデザインによる社会課題の解決の研究を行っている。

今回は、企業経営の最も重要な柱の一つと言われるようになった「デザイン」と「持続可能性」、長期的な視点から見た経営とデザインの考え方、勢いを増すクリエイティブな組織と文化について触れながら、経営におけるデザインの役割について講演する。



餘久保 優子 Yuko Yokubo

石川県工業試験場 デザイン開発室 研究主幹・3D モノづくり推進室(兼務)
石川県リハビリテーションセンター バリアフリー推進工房(兼務)

金沢美術工芸大学大学院 製品デザインコース卒業後、医療・福祉機器メーカー企画開発部、デンマークへの短期留学を経て、2003 年より現職。ユニバーサルデザインをライフワークとしながら、伝統工芸品から福祉用具、工作機械まで、県内企業の様々なデザイン開発を支援。近年は 3D モノづくり技術を活用した製品の使いやすさ向上、開発時間の短縮やコスト削減に取り組んでいる。

今回は、県内企業へのデザイン支援の事例を紹介し、受講者と意見交換を行いながら、地場産業における持続可能なモノづくりに向けたデザインの役割について講演する。

お申し込み

FAX または E-mail にてお願いします。

FAX : 076-240-1903 E-mail : minami_m@city.kanazawa.lg.jp

「ものづくりデザインセミナー」受講申込書

企業名			
所在地			
TEL		FAX	
ふりがな 受講者名 E-mail			

※申込みをいただいた方には、今後、金沢市からセミナー等のご案内をさせていただく場合があります。

お問い合わせ先

担当：金沢市異業種研修会館 南（みなみ）

住所：〒920-0377 金沢市打木町東 1400 番地

TEL：076-240-1934 FAX：076-240-1903

E-mail：minami_m@city.kanazawa.lg.jp

H P：「金沢のものづくり」 / <https://www4.city.kanazawa.lg.jp/17031/kougyou/index.html>

「金沢市産学連携ネットワーク」 / <http://www.kanazawa-sangaku.jp/>